

社会資本総合整備計画

大山崎町防災子ども安全まちづくり計画(防災・安全)

(第2回変更)
令和6年12月

京 都 府 大 山 崎 町

(参考様式2) 社会資本総合整備計画（防災・安全）

令和6年12月16日

計画の名称	大山崎町防災子ども安全まちづくり計画（防災・安全）										重点配分対象の該当		○				
計画の期間	令和5年度 ～ 令和9年度（5年間）					交付対象	京都府大山崎町										
計画の目標	本町は、総面積597ha、人口約16,000人と京都府下で一番小さな町ではあるが、町域には一級河川である桂川、小畑川、小泉川、久保川の4川があり、3川が桂川に流れ込んでいる。H29.6に国から示された桂川の想定最大規模の浸水想定区域は、町居住域の1/3にまで及ぶ想定となっている。このように本町は、出水期や集中豪雨、台風接近の際には特に厳重な警戒が必要となる自然的条件を持つ。また、地震災害では、付近に活断層の密度が高く、有馬－高槻断層帯による地震時には、震度7の非常に大きい揺れが想定されている。南海トラフ地震の発生においても著しい被害が生じるおそれがあるため、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている。これらの状況を踏まえ、町民が避難所へ避難するための安全な避難経路の整備が喫緊の課題であるという認識のもとに避難経路及び生活道路の整備を進め、また住民の防災意識の向上を図り、ソフト面ハード面とも災害に強いまちを目指します。																
計画の成果目標（定量的指標）																	
- 町防災・防犯情報メール登録者数を3,840人（R4）から8,000人（R9）に増加 - 防災意識向上のための防災伝道師を29人（R4）から150人（R9）に増加。																	
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値				備考			
大山崎町における防災・防犯情報メール登録者数を調査										当初現況値 (R4当初)	中間目標値 (R7末)		最終目標値 (R9末)				
										3,840人	7,000人		8,000人				
										29人	100人		150人				
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		294.1百万円	A	268.2百万円	B	—	C	25.9百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	8.8%			
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R5	R6	R7	R8	R9				
A-1	都市防災	一般	大山崎町	直接	大山崎町	地区公共施設等整備(大山崎町地区)	避難路兼通学路整備 L=2.3km, W=4.0m～6.5m ソーラー付LED公園灯 5基	大山崎町						268.2			
合計													268.2				
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R5	R6	R7	R8	R9				
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									R5	R6	R7	R8	R9				
C-1	都市防災	一般	大山崎町	直接	大山崎町	歩行空間カラー明示事業	延長 L=0.9km	大山崎町						8.9			
C-2	都市防災	一般	大山崎町	直接	大山崎町	公園遊具更新事業	遊具更新 9公園	大山崎町						15.6			
C-3	都市防災	一般	大山崎町	直接	大山崎町	公園灯LED化更新事業	公園灯LED化 6公園	大山崎町						1.4			
合計													25.9				
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
C-1	A-1と一体となって、歩行空間を明示することで、避難路における歩行者の安全確保、また通学路の安全確保も行い安全・安心を確保する。																
C-2	A-1と一体となって、一時避難場所となる町内公園遊具を更新することにより、子供たちの安心・安全の確保と、一時避難所の安全性を確保する。																
C-3	A-1と一体となって、公園灯のLED化を実施することにより、路面照度が上がり夜間の視認性が向上し、一時避難場所の安全性を確保する。																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									R5	R6	R7	R8	R9				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

(参考様式2) 参考図面

